配車ルールおよび費用・運用の考え方

配車担当・乗車メンバー・費用の算出と精算手順

配車代 配車代金の基本ルール・概念

発生基準	**選手1人につき発生**します。※大人・監督・コーチ乗車分の配車代は発生しません。
算出手順	**配車代金の算出は監督より適宜指示を受け、それを遵守します。**
集金と分配	各車で集めた配車代を一度1つに集計し、配車担当の方々へ一括で振り分けます。
受け取り額	**「1台ごと」の定額支給**（乗車人数に関わらず、2人乗せても5人乗せても支給額は同額）。
除外条件	・自分の子供のみを乗せている（単独移動）場合：配車代の支払・受取ともに不要 ・片道のみの利用（行きのみ利用等）の場合でも半額にはなりません。
代金の意義	ガソリン代・高速代のほか、運転にかかる労力や拘束時間へのお礼の意味も含みます。

【算出例】選手14人／配車台数6台 の場合

配車保護者支給額 ＝ （乗車選手 14人 × 1人集金額 300円） ÷ 配車 6台 ＝ 700円/台

※各家庭は自分の子供の分（300円）を会計へ支払い、集計先より配車担当者へ1台あたり支給額（700円）をお渡しします。
※金額は移動距離（遠征先）に応じてその都度計算・アナウンスされます。

運用 駐車場および乗車メンバーの決め方

乗車定員の考え方
助手席は基本乗車しない
安全面への配慮から**助手席には原則選手を乗せない**こととします（運転席・助手席を除く）。
（例：5人乗り＝選手3名 / 7人乗り＝選手5名 / 8人乗り＝選手6名）

乗車メンバー
原則同一メンバー
行き帰りは原則同じ車・メンバーで移動します。変更がある場合は置き去り防止のため、グループLINE等で必ず全体共有してください。

担当の割り振り
負担の均等化
帯同可能な保護者を優先とし、順番に回すなど負担を分散します。小さい兄弟がいる家庭の体調不良リスク等にも考慮し柔軟に調整します。

【駐車場の利用ルール】 主催者側からの指定台数を遵守します。会場に停められない場合は近隣駐車場を利用し、配車者の駐車料金は部費精算（要領収書）となります。

補足 柔軟な運用とお願い

- ✔ **個別での調整は避ける：** 他の子を乗せる場合は原則として配車全体の調整に組み込みます。希望はなるべく考慮しますが、全体のバランスを見て調整します。
- ✔ **年ごとの柔軟な見直し：** メンバー構成、居住地、兄弟の有無などは毎年変わるため、その年の状況に合わせて柔軟に調整・運用を行っていきます。

ご質問・不明な点がございましたら、監督やコーチ、A.Bチーム責任者までお気軽にお問い合わせください。